



実行時の注意事項

①コマンドライン実行の場合

No.	注意事項
1	コマンドラインからの実行は常に「通常呼び出し」となります。
2	コマンド書式はMODE110(アドレス)の後に記述して指定します。 MODE110(アドレス)コマンド パラメータ/パラメータ..... (コマンドは2文字です)
3	コマンドライン指定で実行されると、FBFはまずコマンド構文をチェックします。 この時、必須パラメータが省略されていたり、 ファイル名が8文字より多いなどの不備がある場合は「SN error」等が発生して終了します。 (ただしアドレス指定で0～65536の数値を指定すると BS error、 文字列を指定する部分で数値を指定等を行うと TM error となります)
4	構文誤りがない場合はファイル処理が実施されます。
5	実施したファイル処理で結果が失敗しても(指定したファイルが見つからない、 容量が足りない等)エラーは発生せず、 ワークエリアのリザルトコード(&H17A7)で処理結果を示します。 パラメータで文字列を指定する場合(ファイル名)、 BASICの文法同様、ダブルクォーテーションで囲んでください。 文字変数も利用可能です。
6	パラメータで数値を指定する部分にもBASIC同様、10/16進や変数・計算式での指定が可能です。
7	無効なコマンド名を指定した場合、以下の動作となります。 コマンドの文字数が2文字の場合は リザルトコード(&H17A7)が 1 になる(エラー発生せず)。 コマンドの文字数が2文字以外は、SN error が発生する。

②ワークエリア指定実行の場合

No.	注意事項
1	BASICでは、POKE命令を使用して指定アドレス(システムワークエリア)に情報を書き込んだあと、 引数なしのMODE110(コールアドレス) でFBFを呼び出します。
2	FBF処理後、呼び出し元に戻る必要がない場合は、JP命令でジャンプし、 処理後に呼び出し元に戻る必要がある場合は、機能番号に128を足して(最上位ビットをONにする)、 CAL命令によってFBFを呼び出します(CAL呼び出し)。
3	【重要】 機械語からFBFを呼び出す場合は IZレジスタが示す外部アドレスの内容を「0」に設定し、 (IZの値及びIZを示すアドレスの適当な値を設定してください)
4	【重要】 CAL呼び出しする場合は、 IXレジスタを 0 に設定した状態でCAL命令によってFBFを実行してください。 IXレジスタが 0 以外の場合は通常呼び出し扱いとなります。
5	FBFコール時、ワークエリア&H1793に書かれた値を 「機能番号(要求機能種別)」とし、該当処理を行います。



コマンドライン書式一覧

機能	コマンド書式					
		第1パラメータ	第2パラメータ	第3パラメータ	第4パラメータ	
ファイルの保存	MODE110 (BASE) BS	"保存ファイル名"	, 開始アドレス	, サイズ		実行開始番地(※1)
ファイルのロード	MODE110 (BASE) BL	"ロードしたいファイル名"	, ロード開始アドレス(※2)			
ファイルの削除	MODE110 (BASE) KL	"削除したいファイル名"				
ファイル名の変更	MODE110 (BASE) RN	"変更したいファイル名"	, "新しいファイル名"			
ファイルの検索	MODE110 (BASE) SF	"検索したいファイル名"				
システム情報取得	MODE110 (BASE) SI					
ジャンプテーブル作成	MODE110 (BASE) JP					
RRプログラム実行①	MODE110 (BASE) RR	"実行したいファイル名"	, パラメータ…(※3)			
RRプログラム実行②	MODE110 (BASE) RL	"実行したいファイル名"	, ロード開始アドレス	, パラメータ…(※3)		
ファイルの移動処理	MODE110 (BASE) MV	"移動したいファイル名"				
FBF切り離し	MODE110 (BASE) OF					

記号の意味	
灰色部分	必須項目
白部分	省略可能項目
" で囲んだ文字	文字列指定
" で囲んでいない文字	数値(アドレス)指定

※1: 省略した場合は「0000H」が代入されます。

※2: 省略した場合は保存時のアドレスにロードされます。

※3: 必要パラメータは実行するプログラムによります。



ワークエリアファンクション機能一覧

Rev.2024/02/18

	機能番号		0		1		2		3		4		5		6		機能番号			7		8		9		10		11		12		127		機能番号						
	機能名称		ファイル 番号検索 ※3		ファイル 保存		ファイル 削除		ファイル ロード 保存時 アドレスへロード		ファイル ロード アドレス指定		ファイル名 変更		ファイル名 検索※3		機能名称			情報 取得		ジャンプ テーブル コピー		ワーク エリア クリア		RR式 実行①		RR式 実行②		ファイル 移動		FBF 切り離し		機能名称						
アドレス		役割		入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	役割		アドレス		入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	役割		アドレス				
1793H +0		機能番号		0		1		2		3		4		5		6		機能番号		1793H +0		7		8		9	0	10		11		12		127		機能番号		1793H +0		
1794H +1		ファイル番号		ファイル 番号														ファイル番号		1794H +1			※1				0								ファイル番号		1794H +1			
1795H +2		ファイル名		登録されているファイルの情報※5	保存したいファイルの情報※5			削除したいファイル名※5		ロードしたいファイル名※5		ロードしたいファイル名※5		変更したいファイル名※5		検索したいファイル名※5		ファイル名		1795H +2						0		実行したいファイル名※5		実行したいファイル名※5		移動したいファイル名※5					ファイル名		1795H +2	
1796H +3																				1796H +3																				
1797H +4																				1797H +4																				
1798H +5																				1798H +5																				
1799H +6																				1799H +6																				
179AH +7																				179AH +7																				
179BH +8																				179BH +8																				
179CH +9																				179CH +9						0										179CH +9				
179DH +10		ロードアドレス										ロード先						ロードアドレス		179DH +10						0			ロード先								ロードアドレス		179DH +10	
179EH +11																				179EH +11						0										179EH +11				
179FH +12		サイズ																サイズ		179FH +12						0										179FH +12				
17A0H +13																				17A0H +13																				
17A1H +14		実行アドレス																実行アドレス		17A1H +14						0										17A1H +14				
17A2H +15																				17A2H +15																				
17A3H +16		収納アドレス																収納アドレス		17A3H +16						0										17A3H +16				
17A4H +17																				17A4H +17																				
17A5H +18		ロードアドレス																ロードアドレス		17A5H +18						0										17A5H +18				
17A6H +19																				17A6H +19																				
17A7H +20		リザルトコード			0/1		0/1		0/1		0/1		0/1		0/1		0/1	リザルトコード		17A7H +20			0		0		0		0/1		0/1		0/1		0		リザルトコード		17A7H +20	
17A8H +21		ファイル名																ファイル名		17A8H +21						0											17A8H +21			
17A9H +22																				17A9H +22																				
17AAH +23																				17AAH +23																				
17ABH +24																				17ABH +24																				
17ACH +25																				17ACH +25																				
17ADH +26																				17ADH +26																				
17AEH +27																				17AEH +27																				
17AFH +28																				17AFH +28																				
17B0H~ +29		ワーク																ワーク		17B0H~ +29						0					※4				ワーク		17B0H~ +29			

【情報取得時】※1=登録されているファイルの総数 ※2=インストール前のDIREN(&H18D1,&H18D2)ポインタの値

【ファイル移動時】※4=FDDバッファ 17B0Hより200バイトを移動のワーク領域として使用します。

【ファイル番号検索時】【ファイル名検索時】※3=通常呼び出し時に限り、以下のBASIC変数に情報が代入されます。

FN\$:ファイル名 ST:スタートアドレス SZ:サイズ EX:実行アドレス SO:収納アドレス

【注意1】 ファイル名指定時、8文字に満たない場合は、「0」で埋めてください。

【注意2】 アドレスはリトルエンディアン形式で格納する必要があります。例えば&H179D,E番地に「&H70FF」の場合、&H179D=&HFF , &H179E=&H70 となります。



失敗要因一覧

機能番号	コマンドライン	機能概要	失敗要因
0	—	ファイル番号検索	0 または最大登録数を超えたファイル番号を指定した(不正なファイル番号の指定)。
1	BS	ファイル保存	既にファイルが255個登録されている。 ファイルを保存する為の容量が不足している。 開始アドレス+サイズが FFFFH を超えている(不正アドレスの指定)。 ファイル名の先頭に「\$」が付いているファイルに対して上書き保存を行おうとした。 サイズが 0 で保存指定された。 (例えば 0000H番地だけの内容を保存する場合、サイズは 1 になります) ファイル名の1文字目が キャラクターコード 0 になっている(不正なファイル名の指定)
2	KL	ファイル削除	ファイルが全く登録されていない。 指定したファイル名が存在しない。 ファイル名の先頭に「\$」が付くファイルを削除しようとした。
3	BL	ファイルロード (保存時アドレスへのロード)	指定したファイルが存在しない。 開始アドレス+サイズが FFFFH を超えている(不正アドレスの指定)。
4	BL	ファイルロード (アドレス指定ロード)	指定したファイルが存在しない。 開始アドレス+サイズが FFFFH を超えている(不正アドレスの指定)。
5	RN	ファイル名変更	指定したファイルが存在しない。 新しいファイル名が既に存在する。
6	SF	ファイル名検索	指定したファイルが存在しない。
7	SI	情報取得	—
8	JP	ジャンプテーブルコピー	—
9	—	ワークエリアクリア	—
10	RR	RR式実行①	RR形式プログラムとして不備が確認された(チェックエラー)。
11	RL	RR式実行②	RR形式プログラムとして不備が確認された(チェックエラー)。 開始アドレス+サイズが FFFFH を超えている(不正アドレスの指定)。
12	MV	ファイル移動	指定したファイルが存在しない。 ファイル名の先頭に「\$」が付いていないファイルを指定した。
127	OF	FBF切り離し	—

コマンドライン指定時、文法に問題がある場合は、BASICエラーが発生します。(SN ErrorやTM Error、BS Error等)
 ワークエリア指定による実行時は、リザルトコード(&H17A7)の変化のみでBASICエラーを発生しません。



RR形式実行結果一覧

RR形式実行① の実行結果

保存時のロードアドレス	リザルトコード	コマンドライン時のエラー	結果
ファイル保存時の状態	0	無し	RR実行形式①を一度も行っていない状態
ファイル保存時の状態	1	SN error	コマンド構文誤りにより処理を中止しました。 (パラメータが不足している場合のエラー) 例) MODE110(BASE)RL
&HFFFF	0	無し	再配置処理は完了し、 処理は指定したファイルに渡されました。
&HFFFF	0	SN error 等	指定したファイル側で発生したエラーです。 エラー詳細についてはファイルの説明書をご覧ください。 例) MODE110(BASE)CL,A\$
&HFFFF	1	無し	再配置データ修正中に 処理は途中で終了しました。 ファイルの内容は書き換えられています。

RR形式実行② の実行結果

保存時のロードアドレス	リザルトコード	コマンドライン時のエラー	結果
ファイル保存時の状態	0	無し	再配置処理は完了し、 処理は指定したファイルに渡されました。
ファイル保存時の状態	0	SN error 等	指定したファイル側で発生したエラーです。 エラー詳細についてはファイルの説明書をご覧ください。 例) MODE110(BASE)RL"CLR.R",&H0000
ファイル保存時の状態	1	無し	再配置データ修正中に 処理は途中で終了しました。 又はファイルが指定アドレスにロードできませんでした。
ファイル保存時の状態	1	SN error 等	コマンド構文誤りにより処理を中止しました。 (パラメータ不足、文字を指定するところに数値を指定した等) 例) MODE110(BASE)RL



ファイル格納情報



フリーエリアへ

アドレス下位(&H0000の方向)へ向かってメモリーを使用していく

ファイル“A”(3バイト)→ファイル“B”(2バイト)の順に登録した際のファイル格納情報です。
最後に登録したファイル“B”を基点(&H0000)としています。

概要	アドレス	内容(H)	解説	
ファイル“B” 保存範囲: &H3456H～ &H3457 (2バイト) &H3456H: &HF0 &H3457H: &HC3 実行アドレス &H3458	0000	+0	F0	ファイルの内容
	0001	+1	C3	
	0002	+2	42	ファイル名 (&H42 = “B”)
	0003	+3	00	
	0004	+4	00	
	0005	+5	00	
	0006	+6	00	
	0007	+7	00	
	0008	+8	00	
	0009	+9	00	
	000A	+10	56	ロードアドレス &H3456
	000B	+11	34	
	000C	+12	02	ファイルサイズ 2バイト
	000D	+13	00	
	000E	+14	58	実行アドレス &H3458
	000F	+15	34	
ファイル “A” 保存範囲: 1234H～&H1236H (3バイト) &H1234: &H47 &H1235: &H8F &H1236: &H92 実行アドレス &H1236	0010	+0	47	ファイルの内容
	0011	+1	8F	
	0012	+2	92	ファイル名 (41H = “A”)
	0013	+3	41	
	0014	+4	00	
	0015	+5	00	
	0016	+6	00	
	0017	+7	00	
	0018	+8	00	
	0019	+9	00	
	001A	+10	00	
	001B	+11	34	ロードアドレス &H1234
	001C	+12	12	
	001D	+13	03	ファイルサイズ 3バイト
	001E	+14	00	
	001F	+15	36	実行アドレス
0020	+16	12		



FBF本体へ

アドレス上位(&HFFFFの方向)にFBFは常駐する。

“SF”コマンドでファイル“B”を検索した時の
のワークエリアの情報

アドレス	内容(H)	解説	
1793	+0	00	ファイル名 (42H = "B")
1794	+1	00	
1795	+2	42	
1796	+3	00	
1797	+4	00	
1798	+5	00	
1799	+6	00	
179A	+7	00	
179B	+8	00	ロードアドレス 3456H
179C	+9	00	
179D	+10	56	
179E	+11	34	ファイルサイズ 2バイト
179F	+12	02	
17A0	+13	00	
17A1	+14	58	実行アドレス 3458H
17A2	+15	34	
17A3	+16	00	このファイルの 格納先頭アドレス
17A4	+17	00	

内容+ディレクトリ情報をひとまとめにして、
「ファイル」となります。